

# 米国ツイン・スターズ・ファンド — 予想分配金提示型 —

Aコース(為替ヘッジあり)  
Bコース(為替ヘッジなし)

## 運用報告書 (全体版)

第20期 (決算日 2018年12月3日)  
第21期 (決算日 2019年3月4日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。


商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2013年12月27日から2023年12月1日	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国ツイン・スターズ・ファンド — 予想分配金提示型 — Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)	ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、アライアンス・バーンスタイン SICAV— セレクトU Sエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズおよびアライアンス・バーンスタイン— アメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズを主要投資対象とします。
組入制限	米国ツイン・スターズ・ファンド — 予想分配金提示型 — Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年4回 (3月、6月、9月、12月の各2日。休業日の場合は翌営業日) 決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とします。 ② 収益分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③ 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

受益者のみなさまへ

平素は「米国ツイン・スターズ・ファンド— 予想分配金提示型— Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第20期から第21期の決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都港区虎ノ門三丁目4番7号

<http://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉  
サポートデスク 0120-565787  
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

## Aコース（為替ヘッジあり）

## ◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産額
		(分配落)	税金 分	込 配 み 金 期 騰 落 中 率		
第7作成期	(第12期) 2016年12月2日	10,014	0	△1.3	106.9	1,089
	(第13期) 2017年 3月2日	10,328	200	5.1	98.9	1,008
第8作成期	(第14期) 2017年 6月2日	10,315	200	1.8	96.8	809
	(第15期) 2017年 9月4日	10,210	200	0.9	98.2	819
第9作成期	(第16期) 2017年12月4日	10,261	200	2.5	97.7	794
	(第17期) 2018年 3月2日	10,204	0	△0.6	95.2	783
第10作成期	(第18期) 2018年 6月4日	10,195	0	△0.1	98.0	689
	(第19期) 2018年 9月3日	10,165	200	1.7	99.6	554
第11作成期	(第20期) 2018年12月3日	9,833	0	△3.3	97.4	515
	(第21期) 2019年 3月4日	10,002	0	1.7	100.8	485

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

## ◎当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		投資信託証券組入比率
			騰 落	率	
第20期	(期 首) 2018年 9月3日	10,165	—	—	99.6
	9月末	10,157	△0.1	—	101.7
	10月末	9,785	△3.7	—	100.9
	11月末	9,812	△3.5	—	97.2
	(期 末) 2018年12月3日	9,833	△3.3	—	97.4
第21期	(期 首) 2018年12月3日	9,833	—	—	97.4
	12月末	9,535	△3.0	—	96.3
	2019年 1月末	9,815	△0.2	—	99.0
	2月末	9,992	1.6	—	98.0
	(期 末) 2019年 3月4日	10,002	1.7	—	100.8

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

## Bコース（為替ヘッジなし）

### ◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産額
		(分配落)	税金 分	込 配 み 金 期 騰 落 中 率		
第7作成期	(第12期) 2016年12月2日	10,147	200	8.9	99.5	6,248
	(第13期) 2017年 3月2日	10,446	250	5.4	98.6	5,661
第8作成期	(第14期) 2017年 6月2日	10,263	200	0.2	98.4	4,876
	(第15期) 2017年 9月4日	10,051	200	△0.1	99.0	4,345
第9作成期	(第16期) 2017年12月4日	10,357	250	5.5	98.6	4,021
	(第17期) 2018年 3月2日	9,769	0	△5.7	97.4	3,453
第10作成期	(第18期) 2018年 6月4日	10,118	0	3.6	97.7	3,443
	(第19期) 2018年 9月3日	10,269	200	3.5	98.9	3,262
第11作成期	(第20期) 2018年12月3日	10,228	0	△0.4	98.4	3,041
	(第21期) 2019年 3月4日	10,352	0	1.2	97.6	2,934

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

### ◎当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		投資信託証券組入比率
			騰 落	率	
第20期	(期 首) 2018年 9月3日	10,269	—	—	98.9
	9月末	10,511	2.4	—	99.5
	10月末	10,130	△1.4	—	99.4
	11月末	10,189	△0.8	—	97.7
	(期 末) 2018年12月3日	10,228	△0.4	—	98.4
第21期	(期 首) 2018年12月3日	10,228	—	—	98.4
	12月末	9,719	△5.0	—	98.9
	2019年 1月末	9,866	△3.5	—	99.4
	2月末	10,237	0.1	—	97.1
	(期 末) 2019年 3月4日	10,352	1.2	—	97.6

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

**Aコース（為替ヘッジあり）****◎投資信託証券の組入比率**

作成期	決算期	株式ファンド	債券ファンド
		AB SICAV I Select US CL-S	AB FCP I American Income Portfolio CL-S
第7作成期	(第12期) 2016年12月2日	48.9	58.0
	(第13期) 2017年 3月2日	49.8	49.1
第8作成期	(第14期) 2017年 6月2日	46.1	50.7
	(第15期) 2017年 9月4日	44.8	53.5
第9作成期	(第16期) 2017年12月4日	39.0	58.7
	(第17期) 2018年 3月2日	38.7	56.5
第10作成期	(第18期) 2018年 6月4日	34.6	63.4
	(第19期) 2018年 9月3日	36.6	63.0
第11作成期	(第20期) 2018年12月3日	34.2	63.2
	(第21期) 2019年 3月4日	40.5	60.3

(注)純資産総額比。

**Bコース（為替ヘッジなし）****◎投資信託証券の組入比率**

作成期	決算期	株式ファンド	債券ファンド
		AB SICAV I Select US CL-S	AB FCP I American Income Portfolio CL-S
第7作成期	(第12期) 2016年12月2日	45.6	53.9
	(第13期) 2017年 3月2日	49.3	49.3
第8作成期	(第14期) 2017年 6月2日	46.9	51.5
	(第15期) 2017年 9月4日	45.2	53.8
第9作成期	(第16期) 2017年12月4日	39.3	59.3
	(第17期) 2018年 3月2日	39.7	57.7
第10作成期	(第18期) 2018年 6月4日	34.5	63.2
	(第19期) 2018年 9月3日	36.1	62.7
第11作成期	(第20期) 2018年12月3日	33.9	64.5
	(第21期) 2019年 3月4日	39.2	58.4

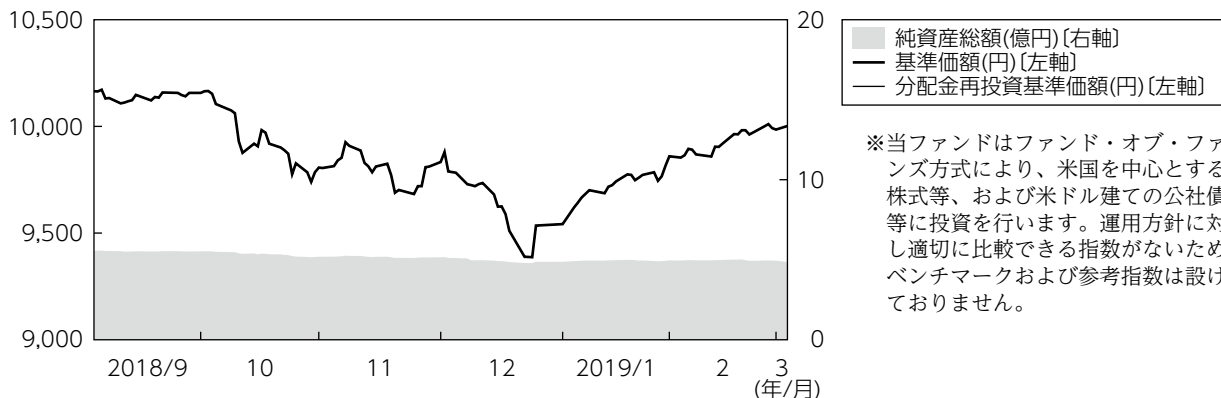
(注)純資産総額比。

※米国ツイン・スターズ・ファンド ー予想分配金提示型ーは、アライアンス・バーンスタイン S I C A VーセレクトUSエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ：株式ファンド（以下「米国セレクト」と言うことがあります）およびアライアンス・バーンスタイン ーアメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ：債券ファンド（以下「アメリカン・インカム」と言うことがあります）に投資しております。

※AB SICAV I Select US CL-Sは米国セレクト、AB FCP I American Income Portfolio CL-Sはアメリカン・インカムです。

## 運用経過の説明

## ■ 基準価額等の推移 Aコース (為替ヘッジあり)



※当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

第20期首(2018年9月3日)：10,165円

第21期末(2019年3月4日)：10,002円(既払分配金0円)

騰落率：△1.6%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

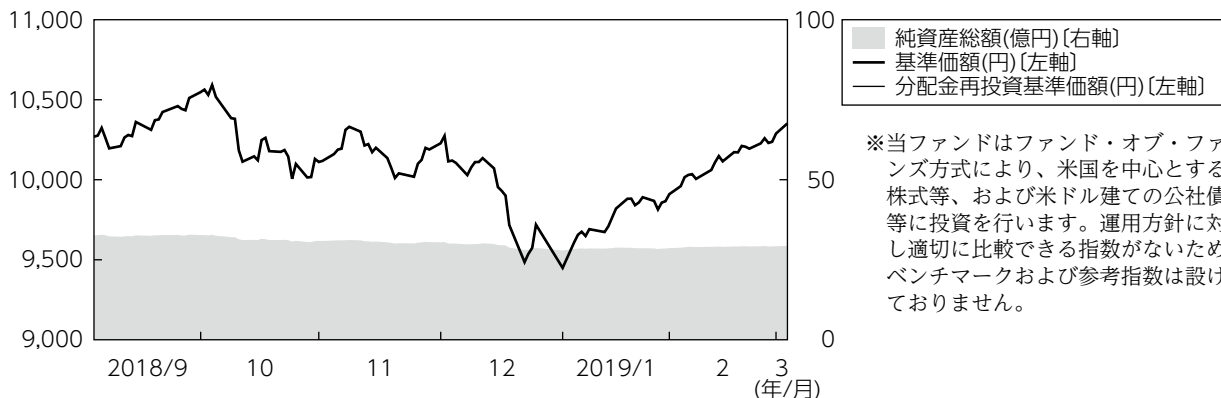
## ■ 基準価額の主な変動要因 Aコース (為替ヘッジあり)

ファンドの運用方針に従い米国セレクトおよびアメリカン・インカムを通じて、主として米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

アメリカン・インカムの基準価額(米ドルベース)は上昇しましたが、米国セレクトの基準価額(米ドルベース)が下落したことや、対円での為替ヘッジに伴うヘッジコストがマイナスに影響したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

## 運用経過の説明

### ■ 基準価額等の推移 Bコース (為替ヘッジなし)



第20期首(2018年9月3日)：10,269円

第21期末(2019年3月4日)：10,352円(既払分配金0円)

騰落率：0.8%(分配金再投資ベース)

※当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額の主な変動要因 Bコース (為替ヘッジなし)

ファンドの運用方針に従い米国セレクトおよびアメリカン・インカムを通じて、主として米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

米国セレクトの基準価額(米ドルベース)は下落しましたが、アメリカン・インカムの基準価額(米ドルベース)が上昇したことや、米ドルが円に対して上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

## ■ 投資環境

### 外国株式

当作成期の米国株式相場は下落しました。米国株式相場は、作成期首から暫くは高値圏で推移していましたが、10月に入るとF R B（米連邦準備制度理事会）の利上げ継続観測、欧州情勢の不透明感などから大きく下落しました。12月には世界景気の減速懸念が高まるなか、F R Bがタカ派姿勢を崩さなかったことが嫌気され、株式相場は大幅調整を余儀なくされました。年明け以降は、米中通商交渉に対する楽観的な見方が広がったことや、F R Bによる利上げ打ち止めが示唆されたことが好感され、買戻しの動きが強まりました。

### 外国債券

当作成期の米国長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。米国長期金利は、作成期首から11月上旬にかけて堅調な米国景気を背景にF R Bの利上げ路線が継続されるとの見方から上昇（債券価格は下落）しました。11月中旬以降は世界景気の減速懸念や原油価格の下落を受けて大幅に低下しました。年明け以降は、リスク資産買戻しに伴う金利上昇圧力と、利上げ打ち止め観測の高まりによる金利低下圧力が拮抗し、レンジ内にて推移しました。

### 外国為替

当作成期の米ドルは円に対して上昇しました。作成期首からF R Bの利上げ路線が継続されるとの見方を背景とした日米金利差拡大によりドル高が進みましたが、10月に入ると貿易摩擦懸念などから徐々に円買いが優勢となりました。12月には、米国の利上げペース鈍化観測を背景に米金利が大幅低下したことに加え、世界的なリスク回避の流れから円高が加速しました。年明けに、一時的に円高が進みましたが、その後はリスク資産を買い戻す流れのなか、円安基調となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 米国ツイン・スターズ・ファンドー 予想分配金提示型ー Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)

作成期首の運用方針に基づき、投資信託証券の組入比率を高位に維持しました。「Aコース (為替ヘッジあり)」は、実質的な組入外貨建資産について、円を対貨とする為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当作成期は、投資対象ファンドであるアメリカン・インカムの組入比率を米国セレクトより高めとしました。

なお、投資対象ファンドの運用および組入比率の助言は、アライアンス・バーンスタインが行っています。

### 米国セレクト

作成期首の運用方針に基づき、米国を中心とする金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式 (米国預託証券 (ADR) を含みます) に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

当作成期は、業種別においては、ファンダメンタルズに比して割安感があると判断した金融 (銀行) セクターを選別的に積み増すとともに、財務レバレッジが低く、キャッシュ創出力の高い情報技術セクターを高水準に保有継続しました。個別銘柄においては、アップル等の組入比率を引き下げ、マイクロソフト、バンク・オブ・アメリカ等の組入比率を引き上げました。

米国セレクトの基準価額は、組み入れていた銘柄の株価が下落したことがマイナスに影響し、下落しました。

基準価額の変動にプラスに寄与した銘柄、マイナスに影響した銘柄は次の通りです。

#### (プラスに寄与した銘柄)

- ・ボーイング、ヴイエムウェア、メルク、ネクステラエナジー

#### (マイナスに影響した銘柄)

- ・アップル、アマゾン、デンバーリー・リソーシズ、アラガン、レイセオン

#### 【組入上位10銘柄】

(2018年8月末)

銘柄名	業種 (GICS分類)	組入比率
アップル	情報技術	4.5%
パークシャー・ハサウェイ	金融	4.3%
アルファベット	情報技術	4.2%
マイクロソフト	情報技術	4.1%
ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	3.6%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	2.9%
L3テクノロジーズ	資本財・サービス	2.9%
レイセオン	資本財・サービス	2.8%
ネクステラ・エナジー	公益事業	2.6%
JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	金融	2.5%

(2019年2月末)

銘柄名	業種 (GICS分類)	組入比率
マイクロソフト	情報技術	4.6%
アルファベット	コミュニケーション・サービス	4.3%
パークシャー・ハサウェイ	金融	4.0%
ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	3.7%
アップル	情報技術	3.2%
バンク・オブ・アメリカ	金融	2.7%
ネクステラ・エナジー	公益事業	2.6%
シスコシステムズ	情報技術	2.5%
JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	金融	2.4%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	2.4%

※組入比率は組入有価証券に対する比率です。

※作成期首・作成期末の各時点で入手し得る直近のポートフォリオの状況です。



### アメリカン・インカム

作成期首の運用方針に基づき、米ドル建ての公社債等に投資し、元本の維持を図りながら、インカム収入の獲得を目指して運用を行いました。

当作成期は米中貿易摩擦など先行き不透明感から米ドル建て公社債市場は変動性の高い状態が続くとみて高リスク債券への投資に慎重なスタンスを取っていましたが、年明け以降はバリュエーション面の魅力が高まったと判断してB B B格の投資適格社債や流動性の高い高利回り社債などを選別的に積み増しました。

アメリカン・インカムの基準価額は、グローバル景気減速懸念やF R Bの利上げ打ち止め観測の高まりにより米国長期金利が低下（米国国債価格は上昇）したことから上昇しました。

#### 【種類別組入比率】

(2018年8月末)

種類	組入比率
米国国債	44.2%
モーゲージ担保証券	13.2%
高利回り社債	12.6%
商業用不動産担保証券	9.1%
エマージング債	8.0%
投資適格社債	7.5%
連邦政府機関債	4.8%
その他	0.8%

(2019年2月末)

種類	組入比率
米国国債	41.9%
モーゲージ担保証券	13.3%
高利回り社債	11.6%
投資適格社債	10.8%
エマージング債	8.0%
商業用不動産担保証券	7.6%
連邦政府機関債	4.6%
その他	2.2%

※組入比率は組入有価証券に対する比率です。

※作成期首・作成期末の各時点で入手し得る直近のポートフォリオの状況です。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

## ■ 分配金

- ・「Aコース（為替ヘッジあり）」、「Bコース（為替ヘッジなし）」の収益分配金は、基準価額の水準等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

#### 「Aコース（為替ヘッジあり）」

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第20期 2018年9月4日 ~2018年12月3日	第21期 2018年12月4日 ~2019年3月4日
当期分配金	—	—
(対基準価額比率)	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	310	310

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

#### 「Bコース（為替ヘッジなし）」

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第20期 2018年9月4日 ~2018年12月3日	第21期 2018年12月4日 ~2019年3月4日
当期分配金	—	—
(対基準価額比率)	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	363	450

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 米国ツイン・スターズ・ファンドー予想分配金提示型ーAコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

引き続き、投資信託証券の組入比率を高位に維持します。「Aコース（為替ヘッジあり）」は、実質的な組入外貨建資産について、円を対貨とする為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

組入比率については当面、アメリカン・インカムの組入比率を米国セレクトより高めとします。

なお、投資対象ファンドの運用および組入比率の助言は、アライアンス・バーンスタインが行います。

### 米国セレクト

引き続き、米国を中心とする金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式（米国預託証券（ADR）を含みます）に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

市場環境に応じて銘柄の多様化を図るとともに、成長が見込まれる魅力的な企業を発掘していきます。

### アメリカン・インカム

引き続き、米ドル建ての公社債等に投資し、元本の維持を図りながら、インカム収入の獲得を目指して運用を行います。

社債などクレジット市場の債券と米国債との配分に留意します。また、銘柄の多様化、リスク分散を図りつつ、機動的にデュレーション調整を行います。

## Aコース（為替ヘッジあり）

### ◎1万口当たりの費用明細

項目	第20期～第21期		項目の概要
	2018年9月4日～2019年3月4日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	101円	1.023%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は9,849円です。
(投信会社)	( 59)	(0.603)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	( 40)	(0.404)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.016)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.008	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	102	1.031	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

### ◎売買及び取引の状況(2018年9月4日～2019年3月4日)

#### ○投資信託証券

		第 20 期 ～ 第 21 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	(アメリカ)	口	千米ドル	口	千米ドル
	AB SICAV I Select US CL-S	10,814	408	10,894	417
	AB FCP I American Income Portfolio CL-S	15,863	293	49,134	918
合 計		26,678	701	60,028	1,336

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

### ◎利害関係人との取引状況等(2018年9月4日～2019年3月4日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

○ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	第10作成期末		第11作成期末		比率
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
株式ファンド (アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
AB SICAV I Select US CL-S	45,437	45,358	1,755	196,705	40.5
債券ファンド (アメリカ)					
AB FCP I American Income Portfolio CL-S	170,704	137,433	2,612	292,691	60.3
合計	216,142	182,792	4,368	489,396	100.8

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ◎投資信託財産の構成

2019年3月4日現在

項目	第11作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	292,691	56.0
投資証券	196,705	37.6
コール・ローン等、その他	33,418	6.4
投資信託財産総額	522,814	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建純資産(490,292千円)の投資信託財産総額(522,814千円)に対する比率は93.8%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=112.03円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年12月3日現在 2019年3月4日現在

項目	第20期末	第21期末
(A) 資産	1,015,182,621円	1,035,309,051円
コール・ローン等	14,166,483	6,531,399
投資信託受益証券(評価額)	325,528,356	292,691,268
投資証券(評価額)	176,498,494	196,705,063
未収入金	498,989,288	539,381,321
(B) 負債	499,764,708	549,771,398
未払金	492,329,600	537,580,780
未払解約金	4,690,442	9,649,306
未払信託報酬	2,736,554	2,533,833
その他未払費用	8,112	7,479
(C) 純資産総額(A-B)	515,417,913	485,537,653
元本	524,181,607	485,455,644
次期繰越損益金△	8,763,694	82,009
(D) 受益権総口数	524,181,607口	485,455,644口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,833円	10,002円

## ◎損益の状況

[自 2018年9月4日] [自 2018年12月4日]  
[至 2018年12月3日] [至 2019年3月4日]

項目	第20期	第21期
(A) 有価証券売買損益	△14,617,956円	10,746,282円
売	15,650,166	36,774,260
買	△30,268,122	△26,027,978
(B) 信託報酬等	△2,761,333	△2,547,410
(C) 当期損益金(A+B)	△17,379,289	8,198,872
(D) 前期繰越損益金	6,185,924	△10,365,055
(E) 追加信託差損益金	2,429,671	2,248,192
(配当等相当額)	( 10,107,659)	( 9,361,685)
(売買損益相当額)	(△ 7,677,988)	(△ 7,113,493)
(F) 計(C+D+E)	△ 8,763,694	82,009
(G) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 8,763,694	82,009
追加信託差損益金	2,429,671	2,248,192
(配当等相当額)	( 10,107,659)	( 9,361,685)
(売買損益相当額)	(△ 7,677,988)	(△ 7,113,493)
分配準備積立金	6,185,924	5,728,165
繰越損益金	△17,379,289	△ 7,894,348

(注1) 当ファンドの第20期首元本額は545,395,714円、第20～21期中追加設定元本額は3,893,884円、第20～21期中一部解約元本額は63,833,954円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第20期0.9833円、第21期1.0002円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第20期8,763,694円です。

(注4) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注7) 第20期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(10,107,659円)および分配準備積立金(6,185,924円)より分配対象収益は16,293,583円(10,000口当たり310円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第21期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(9,361,685円)および分配準備積立金(5,728,165円)より分配対象収益は15,089,850円(10,000口当たり310円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

## Bコース（為替ヘッジなし）

### ◎1万口当たりの費用明細

項目	第20期～第21期		項目の概要
	2018年9月4日～2019年3月4日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	103円	1.023%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は10,108円です。
(投信会社)	( 61)	(0.603)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	( 41)	(0.404)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.016)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.004	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	103	1.027	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

### ◎売買及び取引の状況(2018年9月4日～2019年3月4日)

#### ○投資信託証券

		第 20 期 ～ 第 21 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	(アメリカ) AB SICAV I Select US CL-S	口	千米ドル	口	千米ドル
		52,515	1,987	51,486	1,982
	AB FCP I American Income Portfolio CL-S	40,807	748	236,773	4,445
	合 計	93,322	2,735	288,259	6,427

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

### ◎利害関係人との取引状況等(2018年9月4日～2019年3月4日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

○ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	第10作成期末		第11作成期末		比率
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
株式ファンド (アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
AB SICAV I Select US CL-S	264,325	265,354	10,271	1,150,756	39.2
債券ファンド (アメリカ)					
AB FCP I American Income Portfolio CL-S	1,000,057	804,091	15,285	1,712,466	58.4
合計	1,264,382	1,069,445	25,557	2,863,222	97.6

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ◎投資信託財産の構成

2019年3月4日現在

項目	第11作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,712,466	55.9
投資証券	1,150,756	37.6
コール・ローン等、その他	200,059	6.5
投資信託財産総額	3,063,281	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建純資産(2,863,222千円)の投資信託財産総額(3,063,281千円)に対する比率は93.5%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=112.03円です。



## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年12月3日現在 2019年3月4日現在

項目	第20期末	第21期末
(A) 資産	3,088,892,578円	3,260,418,801円
コール・ローン等	39,573,839	28,652,338
投資信託受益証券(評価額)	1,960,690,817	1,712,466,610
投資証券(評価額)	1,031,807,922	1,150,756,353
未収入金	56,820,000	368,543,500
(B) 負債	47,468,031	325,891,629
未払金	—	295,724,000
未払解約金	31,280,910	15,292,529
未払信託報酬	16,140,843	14,832,579
その他未払費用	46,278	42,521
(C) 純資産総額(A-B)	3,041,424,547	2,934,527,172
元本	2,973,753,308	2,834,621,778
次期繰越損益金	67,671,239	99,905,394
(D) 受益権総口数	2,973,753,308口	2,834,621,778口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,228円	10,352円

## ◎損益の状況

[自 2018年9月4日] [自 2018年12月4日]  
[至 2018年12月3日] [至 2019年3月4日]

項目	第20期	第21期
(A) 配当等収益	1,291円	—円
受取利息	1,291	—
(B) 有価証券売買損益	4,150,100	50,915,090
売買益	76,374,254	94,215,413
売買損	△72,224,154	△43,300,323
(C) 信託報酬等	△16,205,633	△14,887,211
(D) 当期損益金(A+B+C)	△12,054,242	36,027,879
(E) 前期繰越損益金	28,244,084	15,212,090
(F) 追加信託差損益金	51,481,397	48,665,425
(配当等相当額)	( 79,742,103)	( 76,395,525)
(売買損益相当額)	(△28,260,706)	(△27,730,100)
(G) 計(D+E+F)	67,671,239	99,905,394
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	67,671,239	99,905,394
追加信託差損益金	51,481,397	48,665,425
(配当等相当額)	( 79,742,103)	( 76,395,525)
(売買損益相当額)	(△28,260,706)	(△27,730,100)
分配準備積立金	28,244,084	51,239,969
繰越損益金	△12,054,242	—

(注1) 当ファンドの第20期首元本額は3,177,572,127円、第20～21期中追加設定元本額は68,203,481円、第20～21期中一部解約元本額は411,153,830円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第20期1,0228円、第21期1,0352円です。

(注3) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注4) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注5) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注6) 第20期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(79,742,103円)および分配準備積立金(28,244,084円)より分配対象収益は107,986,187円(10,000口当たり363円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第21期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(24,701,629円)、信託約款に規定する収益調整金(76,395,525円)および分配準備積立金(26,538,340円)より分配対象収益は127,635,494円(10,000口当たり450円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

## 《組入投資信託証券の内容》

当ファンドの運用報告書作成時点において入手可能な直前計算期間の年次報告書（または半期報告書）をもとに組入投資信託証券の組入資産明細表および損益の状況を作成、掲載しております。なお、当ファンドは「アライアンス・バーンスタイン SICAVー セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ」および「アライアンス・バーンスタイン ー アメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ」に投資しておりますが、次頁の内容は各投資信託証券における全てのクラスを合算しております。

## アライアンス・バーンスタイン SICAVー セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ

## ◎組入資産明細表

組入上位10銘柄

2018年11月30日現在

	銘柄名	業種	組入比率 (%)
1	マイクロソフト	情報技術	4.6
2	アルファベット	コミュニケーション・サービス	4.4
3	パークシャー・ハサウェイ	金融	4.3
4	アップル	情報技術	3.3
5	ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	3.0
6	ネクステラ・エナジー	公益事業	2.8
7	バンク・オブ・アメリカ	金融	2.6
8	ホーム・デポ	一般消費財・サービス	2.5
9	ジョンソン・エンド・ジョンソン	ヘルスケア	2.5
10	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	金融	2.5

(注)組入比率は組入有価証券に対する比率です。

## ◎損益の状況(自2018年6月1日 至2018年11月30日)

(単位：米ドル)

配当金・利息等 (A)	27,867,473
利息	1,523,349
配当金 (純額)	25,846,643
スワップ収益	495,760
有価証券貸付収益 (純額)	1,721
費用 (B)	△ 25,534,122
管理報酬※	△ 21,695,679
スワップに係る費用	△ 1,439,767
名義書換代行報酬	△ 586,704
管理会社報酬	△ 503,290
税金	△ 594,290
保管報酬	△ 123,871
専門家報酬	△ 168,316
会計および管理事務代行報酬	△ 203,654
成功報酬	△ 115,890
印刷費	△ 40,889
その他	△ 61,772
(A) + (B)	2,333,351
売買損益等	47,235,946
有価証券等売買損益	124,842,613
有価証券等評価損益	△ 77,606,667
当期損益	49,569,297

※上記の損益の状況は、アライアンス・バーンスタインSICAVーセレクトUSエクイティ・ポートフォリオ全体の数値です。米国ツイン・スターズ・ファンドが組み入れるクラスSシェアーズにおいては、管理報酬はありません。

アライアンス・バーンスタイン ー アメリカン・インカム・ポートフォリオ
-------------------------------------

## ◎組入資産明細表

組入上位10銘柄

2018年8月31日現在

	銘柄名	利率 (%)	償還日	組入比率 (%)
1	米国国債	8.000	2021年11月15日	10.2
2	米国国債	2.250	2027年 8月15日	4.4
3	ファニーメイ	6.625	2030年11月15日	2.8
4	米国国債	8.125	2021年 5月15日 2021年 8月15日	2.6
5	米国国債	6.375	2027年 8月15日	2.5
6	米国国債	7.500	2024年11月15日	2.1
7	米国国債	7.125	2023年 2月15日	2.0
8	ファニーメイ	7.125	2030年 1月15日	1.6
9	米国インフレ連動債	0.250	2025年 1月15日	1.5
10	米国国債	6.125	2027年11月15日	1.5

(注)組入比率は組入有価証券に対する比率です。

## ◎損益の状況 (自2017年9月1日 至2018年8月31日)

(単位: 米ドル)

配当金・利息等 (A)	753,862,459
利息	709,963,689
スワップ収益	42,858,949
配当金 (純額)	1,039,821
費用 (B)	△153,012,151
管理報酬※	△111,925,576
管理会社報酬	△ 9,779,026
スワップに係る費用	△ 12,080,639
名義書換代行報酬	△ 5,823,094
販売報酬※	△ 5,719,233
税金	△ 4,915,194
保管報酬	△ 1,157,416
専門家報酬	△ 800,440
会計および管理事務代行報酬	△ 124,091
印刷費	△ 146,832
その他	△ 540,610
(A) + (B)	600,850,308
売買損益等	△787,386,170
有価証券等売買損益	△334,947,652
有価証券等評価損益	△452,438,518
当期損益	△186,535,862

※上記の損益の状況は、アライアンス・バーンスタインーアメリカン・インカム・ポートフォリオ全体の数値です。米国ツイン・スターズ・ファンドが組み入れるクラスSシェアーズにおいては、管理報酬、販売報酬はありません。